

# 花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ国立てくてく

国立市立国立第七小学校 2013. 4. 11

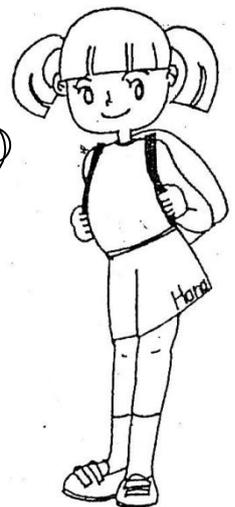
## キャラクターしょうかい

はい！みなさんこんにちは。はじめまして、私はモンタ星（せい）からきたモンタ博士といいます。植物やこん虫が大好きです。このごろは、地球の日本の東京の国立市の歴史や文化もお勉強したいと思っています。これから国立第七小学校のみなさんと、国立のあちこちを「てくてく」と歩いて「わくわくドキドキ」したいと思います。よろしく！



はい！ぼくはいつも明るく元気いっばいのオー君といいます。ほんとうは「おさむ」という名前なんだけど、みんなはオー君ってよんでくれるんだ。おさむっていう名前は、お父さんが「鉄腕アトム」の作者の手塚治虫の大ファンで、そこからおさむって名前になったんだ。ぼくは、虫や星が大好きさ。みんなでも楽しくてくれよう。よろしく！

はい！私はいつも笑顔の花ちゃんです。どうして花ちゃんかという、名前が花子というからです。私は、植物を見たりするのが大好きです。このごろは、バードウォッチングにもはまっています。また、昔のことも知りたいなとおもっています。みなさんでステキな国立を発見しましょう。よろしく！



モンタ博士「花ちゃん・オー君。国立第七小学校はいい学校だね。モンタ博士は、大すきだ。」

オー君 「そう言ってもらってうれしいな。さあ！今からみんなで校庭をてくてくしよう。」

花ちゃん 「うわあー！プールの近くのヤエザクラがとってもきれいですね。」

モンタ博士「よーし！みんなで『花ふぶき』をやって遊ぼう。みんなこっちにおいで！」

オー君 「うわー。花びらが雪のようだ。ひらひらだ。」

花ちゃん 「うら庭もいろいろな木や草があるわ。行ってみましょう。」

モンタ博士「ちょっとまって。うら庭には子どもたちだけでは行ってはいけないよ。このきまりは  
しっかりと守ろうね。」

オー君 「なんかやって遊ぼう。」

モンタ博士「そうだ。草笛（くさぶえ）を教えてあげよう。」

花ちゃん 「なかなか音がでないわ。」

モンタ博士「それじゃ、タンポポ笛にチャレンジだ。」

オー君 「あ！音の出せたお友だちがいるぞ。すごい！」

モンタ博士「すごいね。みんなで拍手だ。草笛とタンポポ笛はちょっと上級コースだったかな。」

花ちゃん 「ナズナの草で音を出して遊んでいる人もいるわ。」

モンタ博士「みんな上手だね。校庭にあるものは、みんなのものだよ。これからもみんなでいろいろと遊んだり、観察したりしよう。どんな虫がいるか。お花がどんな色や形をしているか。じっくりと見つめてごらん。すばらしい発見がたくさんできるよ。そして、  
どうしてかなと不思議（ふしぎ）に思ったり、なぜかなと疑問（ぎもん）をもつことが大切なのさ。さあ！みんなでてくてくしよう！」 To be continued...



## ご挨拶

学校のまわりには畑があり、少し歩けば田んぼも見られ、自然に恵まれた素晴らしい所です。また、谷保地域は歴史と文化の香りもあると感じております。そんな自然や歴史・文化を子供たちに少しでも理解してもらい、自分たちの住んでいる地域に誇りと愛着をもってもらいたいと願っています。いろいろな動植物も見られる地域の良さを生かし、植物や虫などの様子、鳥や星、自然観察の方法、生態学（生き物同士のつながりや、そのた様々なものとの関係性を究めた学問）的な内容、さらに歴史や文化等も含め書き綴っていきたくて考えています。

また、子供たちにもわかりやすいようにと思い、会話形式を用いてキャラクターもオリジナルで考えました。イラストや写真も多く取り入れ、親しみやすいものにしようと考えています。低学年の児童には少し難しいかも知れませんが、そんな時は、絵本を読んであげるように読み聞かせてもらってもよいと思います。この「国立てくてく」で国立地域の素晴らしさをご家族で語り合う材料にしてもらえれば、これほど嬉しいことはありません。果たして何号まで書けるか分かりませんが、私自身も研究研鑽を深め、工夫を重ねていく所存です。なお、紙面右下に保護者・地域の方々向けにも書かせてもらいたいと思っております。以後よろしくごお願い申し上げます

モンタ博士の友達の国立第七小学校長の森田弘文より